

JO NAPOT! ヨー・ナポト! No. 57

Gifu - Hungary Friendship Association

Minokamo-city, Ota-cho 3431-1, 505-0041

TEL : 0574-28-1600 FAX : 0574-25-3917

HP: <http://www.gifu-hungary-fa.com/index.html>

2014. 5発行

新緑の眩しい頃となりました。春の異動で、以前友好協会を手伝いました佐藤が地域振興課事務局に戻ってきました。引き続き、よろしくお願いいたします。

1. 新春大使館訪問（2月7日）

新春のご挨拶のため、山田会長の代理として瀨瀨理事が東京三田のハンガリー共和国大使館を訪問し、大使と懇談をしてきました。セルダヘイ大使は、「岐阜の協会は、いつも豊かな活動を計画している」と話され今年の事業計画に同意されました。その上で、「ヴェスプレーム県パンノン大学と岐阜大学が協定を結んでいるが、実効がない。何か出来る事はないだろうか。」と話されました。これを受けて、山田会長と相談し、後にハンガリーの夕べの開催に併せて、大使の岐阜大学訪問につながり、パンノン大学と岐阜大学の交流促進に役立つことになりました。

2. ブダペスト・フレンドシップコンサート 今年も盛大に開催（4月7日）

ブダペスト・スプリングフェスティバルの人気コンサートとなった「フレンドシップコンサート」が、昨秋改修されたリスト音楽院本校チェンバーホールで満員の観客を迎えて開催されました。開演に先立って、リスト音楽院のヴィグ院長と在ハンガリー日本大使館の山本大使が挨拶に立たれ、このコンサートが岐阜県ハンガリー友好協会の事業から始まったことを称えられました。

プログラムは、ラモー、コダーイ、ラヴェル、ショパンなど取り上げられ、日本からは山田耕作の曲などが演奏されました。このコンサートは、年々盛んになり出演希望も多くなっています。演奏者、教授陣、そして運営にあたるシュディ社に感謝の意を表し、このコンサートが永く続くことを願っています。



（トリオでチェロを弾く上田瑞季さん）



（ソロでチェロを弾く橋本専史さん）

3. セルダヘイ大使、岐阜大学を訪問（4月24日）

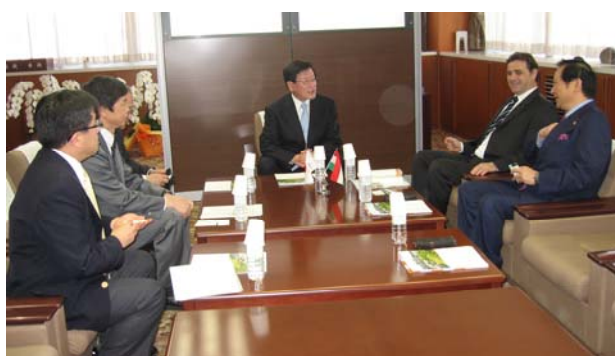
セルダヘイ大使は、「ハンガリーの夕べ」に併せて、24日午後3時に山田会長と共に岐阜大学を訪問されました。

岐阜大学では、森脇新学長、鈴木副学長、嶋教授、竹内教授、そして大学の国際交流関係者と会われました。

会談の冒頭セルダヘイ大使は、「パンノン大学の学長とも話したが、岐阜大学との交流を進めたい」と話されました。これに対し森脇学長は、「今年度からレベルの高い幅広い交流を展開しようと思っていた」と応えられ、両校から合同研究などの例を出し合い、学生、教授を含めた相互交流、相互研究を進めることで合意されました。またそのために、岐阜大学では鈴木副学長をリーダーとするチームを作るのでパンノン大学でも窓口を作ってほしいと要望が出され、セルダヘイ大使はパンノン大学の学長に伝えると答えられました。



（左下:森脇新学長、右上:鈴木副学長）



（セルダヘイ大使による岐阜大学訪問の様子）

更に大使は、昨秋、オルバン首相が来日した折、ハンガリーは、日本からの留学生に対し、1年に100人の奨学金を出すと約束したので、国費留学の可能性は高いと話されました。

会談は、終始和やかに進み、新しい交流に一步踏み出したように感じました。

4. 20周年記念「ハンガリーの夕べ」（4月24日）

20回目となる「ハンガリーの夕べ」が24日夜、岐阜グランドホテルで開催しました。当初、14日に内定していた夕べですが、都合で24日に変更となりご案内が遅れてしまいました。このため、出席状況が心配されましたが山田会長を始め役員各位の努力をいただき各界から60名近い参加者を得ました。当夜は、記念コンサートとして中田麻衣子さんピアノと大迫綾香さんヴァイオリンで、バルトークのルーマニア舞曲、フバイの子供の情景より草原にて、兵士となるなど5曲が演奏されました。



（記念コンサートの様子）

この後、セルダヘイ大使のご高話をいただき、大使は民間交流の大切さを説かれていました。この日の料理は、大使館のバラージュ料理長とホテルの松山料理長の競作で、ピックサラミの前菜やグヤーシュスープ、鱈のフリットミニト、飛騨牛ステーキ、マンガリッツソーセージなどコーススタイルで出されました。またワインは、ハンガリー特産のマスカット味の白ワイン、セクサルディの赤ワイン、トカイのデザートワインが揃い参加者を楽しませていました。



(タベ終了後、ステージにて集合写真)

5. マスターコース、日程決まる(8月3日～10日)

マスターコースは、20回目を迎えます。このためサラマンカホールコンサート(8月3日)では、修了生12人を迎え、前半のステージで教授陣との共演をします。また後半では、NHK交響楽団からヴィオラとコントラバスの奏者が加わり、シューベルトのピアノ五重奏曲「ます」を演奏します。またレッスンは、8月4日から9日まで、サラマンカホール・ピアノと、岐阜県図書館(4日のみグランベール岐山)・ヴァイオリン、クララザール・チェロに分かれて行われます。10日は、サラマンカホールで留学選考会となりました。

ぎふ・リスト音楽院マスターコースは、音楽家の育成(レッスン)、愛好家の拡大(コンサート)、国際交流(懇親会)を目的に始めました。

20回目を迎え振り返ってみますと、よくやってきたなと実感します。

なお、8月3日(日)マスターコンサートの後、岐阜キャッスルインホテルにて、20周年記念パーティーを開催いたします。追ってご案内申し上げます。

事務局から

この4月から事務局へ再任いたしました、佐藤です。今後ともご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



(「ぎふ・リスト音楽院マスターコース受講生募集 ちらし」)